

2018年度 第67回青森県秋季陸上競技選手権大会 実施要項

- 1 主催 一般財団法人青森陸上競技協会
- 2 共催 青森県高等学校体育連盟陸上競技専門部
- 3 後援 青森県教育委員会・公益財団法人青森県体育協会・青森県中学校体育連盟
- 4 主管 一般財団法人青森陸上競技協会・青森市陸上競技協会
- 5 期日 2018年9月21日（金）～23日（日）
- 6 場所 青森県総合運動公園陸上競技場（〒038-0021 青森市安田字近野 234-7）
- 7 競技開始 第1, 2, 3日 9:00～
- 8 種目 男女種目別、年齢区分や重さにご注意ください。

男子	1日目	400m・1500m・ジュニア110mJH(0.991m)・110mH(1.067m)・3000mSC 5000mW・4×100mR・走幅跳・走高跳・砲丸投(7.26kg) ジュニア円盤投(1.75kg)・ジュニアハンマー投(6.0kg)
	2日目	100m・800m(予)・10000m・4×400mR(予) 棒高跳・ジュニアA砲丸投(6.0kg)・円盤投(2.0kg)
	3日目	200m・800m(決)・5000m・400mH・4×400mR(決) 三段跳・ジュニアB砲丸投(5.0kg)・ハンマー投(7.26kg)・やり投
女子	1日目	400m・1500m・ジュニアB100mYH(0.762m)・100mH(0.838m)・2000mSC 5000mW・4×100mR・走幅跳・砲丸投(4.0kg)
	2日目	100m・800m(予)・3000m・10000m・4×400mR(予) 走高跳・棒高跳・円盤投(1.0kg)
	3日目	200m・800m(決)・5000m・400mH・4×400mR(決) 三段跳・ハンマー投(4.0kg)・やり投

○ジュニア：高校生以下 ○ジュニアA：高校2～3年生 ○ジュニアB：中学1年～高校1年生

9 参加資格

下記の①②のどちらかを満たしている選手が参加資格となります。

(①②は満たしていないが、本競技会に参加意思のある選手は③をご覧ください。)

①2018年度青森陸上競技協会登録者。(青森陸上競技協会HPより登録)

②他県登録選手で、国民体育大会や東日本女子駅伝、都道府県対抗男子・女子駅伝において「青森県でのふるさと選手」としての参加資格・意思のある選手。

※申し込みについては【申し込みに関する問い合わせ先】へご連絡ください。

※「青森県でのふるさと選手」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が青森県である選手のことを言う。この場合、青森県内の競技会で1年間使用できるナンバーカードを別途配布します。ナンバーカード代は200円で、参加料と一緒に納入して下さい。納入は年間で1回のみとなります。なお、これは競技会用のナンバーカードを発行するだけで、二重登録にはなりません。競技結果は、順位が付与され、決勝ラウンドまで進むことも可能です。

③上記①②以外で、今大会に参加意思のある選手。

※参加する場合は、オープン参加とし、記録は公認となるが順位には含まれない。

申し込みについては【申し込みに関する問い合わせ先】へご連絡ください。

10 出場制限

男・女とも制限なし。リレーチーム数も制限なし。

※ただし、ジュニアBの選手がジュニアAや一般の種目に、またはジュニアAの選手が一般の種目に出場することは可能である。出場する場合はハードルの高さや砲丸の重さについて十分ご指導いただき、けがのないように宜しくお願いします。

11 申し込み

メールにて8月21日（火）23:59まで必着で申し込んで下さい。

青森陸上競技協会HP (<http://www.jomon.ne.jp/~arikkyo/>) を参照し、青森陸上競技協会競技部まで申し込んでください。

【申込専用メールアドレス】

●中学・高校・大学等申込アドレス kensyuuki2018@mutsu-rk.jp

●一般個人用申込フォーム (URL) <http://sofcom.ne.jp/mutsu-rk/kensyuuki/>

●他県登録者申込アドレス numayama-kazuya@m04.asn.ed.jp

【団体登録者】 中学・高校・一般・大学（大学内で2名以上の場合）

登録者（代表者）に、メールで申込ファイルを送信いたします。メール受信者側のパソコン環境によって、迷惑メールフォルダ等に送付されている場合があります。申込締切1週間前になっても申込ファイルが届かない場合は、申込締切に間に合うように、下記の【申し込みに関する問い合わせ先】まで連絡ください。

申込ファイルに、参加者を記入し、申込専用メールアドレスに送信して下さい。メールアドレスは、大会毎に異なりますので、ご確認願います。参加料は各団体で取りまとめた上、団体名（振込人名）がわかるように振り込んでください。

【個人登録者】 一般（個人）・大学（大学内で1名の場合）

上記の【申込専用メールアドレス】の「一般個人用申込フォーム」より参加の申し込みをしてください。

【申し込み注意点】

○大会申込作業を代行会社に委託しているため、申込締切後、申込変更（ナンバー、氏名、所属、学年、種目等）や申込遅延などの受付はできません。当日の追加・訂正も受け付けません。

○申込ファイルについて、様式（セル内の数式、ロック）を変更せずに入力してください。変更した場合、申込ファイルを受付できません。

○申込を受付した際、必ず業者からその旨を伝えるメールが返信されます。そのメールの受信を必ず確認してください。返信メールがない場合は、受付が完了していない可能性があります。

○登録番号（ナンバーカード）の入力について

・昨年度の登録番号を忘れずに入力してください。

・新中学1年生や2017年度未登録者、登録番号の不足については、入力しないでください。その番号については、事務局で割り当てし、連絡いたします。

【申し込みに関する問い合わせ先】

青森陸上競技協会競技部 沼山一弥 numayama-kazuya@m04.asn.ed.jp

12 参加料

個人1種目1,000円、リレー1チーム1,500円

必ず申し込みと同時（同日中）に、銀行振込で納入してください。

【振込先】 青森銀行 八重田（ヤエダ）支店 普通 1204884

あおもりりくじょうきょうぎきょうかいきょうぎぶ
青森陸上競技協会競技部 代表 かわした 川下 ともりのり 友徳

※手数料は、各団体で負担してください。振り込みの際は、全ての個人種目数・リレーチーム数のエントリー分の参加料を合計した金額を、一括して振り込むこと。申込締切後、個人・団体・学校事情等による参加料の返金には応じられませんのでご了承ください。

※振込名は、通帳記帳の印字に制限があるため、団体名、個人名が判別できるように入力してください。振込名はプログラム記載団体名が望ましい。

例1) 青森県立青森工業高等学校の場合、青森県立はつけないで、学校名を省略して「アオモリコウギョウ」等のように記入する。

例2) 日本大学文理学部体育学科1年 青森太郎（個人）1名しか出場者がいない場合、学部・学科、学年はつけないで、名前を明記してから、学校名を省略して「アオモリタロウ ニチダイ」等と記入する。

13 参加料の領収書について

参加料は銀行振込のため、銀行振込明細書をもって参加料の領収書の発行に代えます。銀行振込明細書が税務上も正規の領収書となります。ただし、参加団体で銀行振込明細書とは別に、領収書の発行を希望する場合は、青森陸上競技協会HPより「領収書」の様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、銀行振込明細書とともに受付に持参ください。受付にて内容を確認の上、押印して領収書をお渡しします。

14 申込状況の確認

申し込み状況及び参加料の振り込み状況は、青森陸上競技協会HPで確認できます。担当者は手作業を行うため、HPに掲載されるまで時間がかかることもあります。

15 表彰

第1位～第8位までを表彰する。

16 その他

- ・各参加団体でスポーツ障害保険等に加入の上、本競技会に参加してください。
- ・本競技会で得た個人情報については、個人情報の保護に関する法律を遵守し、競技運営に必要な連絡などに利用します。また、運営や宣伝などの目的で、プログラムやインターネットなどの媒体に掲載することもあります。
- ・棒高跳のポール以外の用具は、原則として競技場備え付けの物を使用します。
- ・組み合わせは2018年度の記録を参考に、機械による抽選をして決定します。
- ・主競技場について、7月末時点で大会前日の20日（木）は他の競技団体の利用予約は入っていません。利用する場合は、競技場に確認の上、ご利用ください。なお、利用料金については、各団体での負担となります。
- ・テント設営（確保も含む）は、21日（金）の開門6:30以降に行ってください。
- ・砲丸投に限り、本競技場の投擲ピットで投擲練習を行うことができます。
- ・男女10000mにおいては、2019東京マラソン「準エリートランナー」推薦者の選考レースを兼ねています。推薦希望選手は、青森陸上競技協会HP掲載の「推薦希望書（個人票）」を事前に記載し、当日受付へ提出して下さい。

2018 年度 第 67 回青森県秋季陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 競技規則について

(1) 本大会は、2018 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場使用日程」に従い実施すること。

(2) 練習は、原則監督の付き添いのもと安全に留意し事故防止に努めること。

3 招集について

(1) 招集所は 100m スタート付近スタンド下に設置する。ただし、フィールド競技の招集は、競技実施場所で行う。

(2) 招集開始時刻(点呼開始時刻)及び招集完了時刻(移動開始時刻)は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック 競 技	種 目	100m 100mH 200m 110mH 400m 400mH 800m 4×100mR	種 目	1500m 2000mSC 3000m 3000mSC 4×400mR	種 目	5000m 10000m 5000mW				
	組	開 始	終 了	組	開 始	終 了				
	1～5	30 分前	15 分前	1～3	30 分前	15 分前	1	30 分前	15 分前	
	6～10	15 分前	0 分前	4～	15 分前	0 分前	2	15 分前	0 分前	
	11～15	0 分前	15 分過	*	*	*	3	0 分前	15 分過	
16～	15 分過	30 分過	*	*	*	*	*	*		
フィールド 競 技	種 別	跳 躍		種 別	棒 高 跳		種 別	投 て き		
	予・決	開 始	終 了	決	開 始	終 了	決	種目	開 始	終 了
		60 分前	50 分前		60 分前	50 分前		砲丸投 ハンマー投	40 分前	30 分前
		60 分前	50 分前		60 分前	50 分前		円盤投 やり投	60 分前	50 分前

(3) 競技者は出場種目の招集開始時刻までに招集所に集合して、競技者係よりユニフォーム、ナンバーカード、スパイク、商標及び競技場内への持込物品などについて確認を受ける。

(4) 招集の留意点

①同時刻帯に2種目兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意してある「多種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。

②招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。

(5) 招集に関する提出書類は次のとおりである。

書類の種類	準備場所	提出場所	提出時刻
欠場届	プログラム掲載	招集所競技者係	招集開始時刻
多種目同時出場届	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻
リレーオーダー用紙	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻 1 時間前
棒高跳支柱移動届	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配布されたままの大きさと胸部と背部に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部の一方でよい。**折り曲げたり、手書きのものは認めない。**
- (2) トラック競技に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につける。腰ナンバーカードは招集所で準備する。競技終了後、フィニッシュ地点でカゴに入れること。
- (3) 特別ナンバーカード（3000m以上の長距離、競歩、4×400mR）は、召集時に配布する。競技終了後、フィニッシュ地点で回収補助員に返却すること。

5 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技の組合せ及び走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組合せ及び走路順は、主催者が公平に抽選して決定し、決定次第招集所の掲示板に掲示する。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたとき（以下同タイム者という）は、次の方法で決定する。
 - ①100m・200m・400m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者（チーム）については、細部（電気計時1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
 - ②800m・1500m・3000m・5000m・2000mSC・3000mSCの同タイム者については、細部（電気掲示1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、次のラウンドに進むことができる。その際、最終枠の同記録者で抽選を行う。同記録者が2人のとき、9人目の選手が入るのは8レーンとする。その場合、外側2レーン中位グループで抽選を行う。同記録者が3人の場合、10人目の選手が入るレーンは2レーンとし、内側2レーンは下位グループで抽選を行う。

6 競技について

- (1) スタートの合図は英語で行う。不正スタートをした競技者は、一回目から失格となる。
- (2) スタートについて（本競技会における第162条5の取り扱い）

「On your marks」あるいは「Set」の合図のあと

 - (a) 合図の後で正当な理由もなく手を挙げたり、立ち上がった場合
 - (b) 合図に従わない、遅れることなく速やかに最終の用意の位置につかない
 - (c) 合図後、大きな音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときこれらの不適切行為を行ったときには警告対象としてイエローカードを提示することがある。2枚のイエローカードの提示を受けた競技者は当該種目のみ失格とする。また、「Set」後タイミングを遅らせて腰を上げる、体が静止しなかった（ピクッと動く、腰のふらつきなど）場合には注意にとどめるが繰り返し行われたときはイエローカードを提示することがある。このときも2枚のイエローカードで当該種目は失格とする。
- (3) トラック及びフィールド内には、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。
- (4) 競技者は、ビデオカメラ・オーディオプレーヤー・トランシーバーや携帯電話（携帯型端末器も含む）もしくは類似した機器を競技区域内で使用してはならない。

- (5) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り抜けること。
- (6) リレーにおいては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- (7) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。（用紙は招集所に準備する）なお、一度オーダー用紙を提出した場合、時間内であっても訂正のオーダー用紙は受け付けない。
- (8) リレー競技におけるメンバーの編成は、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる（奨励種目のみの競技者は別扱いとする）。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は該当リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- (9) リレーで使用するマーカー（粘着テープ）は各チームで用意し、レース終了後は撤収すること。
- (10) 4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点（黄色旗）を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。
- (11) 競歩競技において制限時間を設ける。5000mWは男子35分、女子40分を経過後、1周以上残っているときは失格とする。ただし、競技の進行状況によっては、その限りではない。
- (12) 走幅跳・三段跳・棒高跳及びやり投に出場する競技者は、助走路の外側に各自が用意したマーカーを2個まで置くことができる。なお、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカー（粘着テープ）を2個まで置くことができる。
- (13) 男子三段跳の踏切板から砂場までの距離は12mとする。また、女子三段跳の踏切板から砂場までの距離は9mとする。ただし、天候その他の条件によって変更する場合もある。
- (14) 棒高跳競技に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。ただし、希望する支柱の位置を予め係に申告すること。また、競技開始後に事前に申告し支柱の位置を再変更する場合は、支柱がセットされる前に当該審判員に申し出ること。
- (15) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により、本競技会中に不当な行為（非社会的行為などが相当）で警告を2回受けた競技者は本競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。
- (16) 競技結果などは記録処理終了後、随時、青森陸上競技協会HPにて発表する。
(大会プログラム表紙のQRコードを参照してください)

7 競技用具について

- (1) 競技者が本大会で使用する用具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 競技者個人の器具は、練習用といえども競技区域内に持ち込んで서는ならない。

8 スパイクシューズの制限について

- (1) スパイクの本数は11本以内とする。
- (2) スパイクの長さは、9mmを超えてはならない。走高跳及びやり投競技においては12mmを超えてはならない。直径は、先端が4mm以内でなければならない。

9 バーの上げ方について

(1) 走高跳・棒高跳の高さ及びバーの上げ方は次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男子走高跳	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	2m03
女子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	1m73
男子棒高跳	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40
女子棒高跳	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40

①上記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判が決定する。

②第1位に同順位者が出た場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳では5cm単位とする。

10 予選通過記録及び計測標準記録について

計測標準記録

男子走幅跳 5m90
女子走幅跳 4m50

計測標準記録

ジュニア男子砲丸投 9m00
ジュニア男子円盤投 25m00
ジュニア男子ハンマー投 20m00
男子やり投 42m00
女子砲丸投 8m00
女子円盤投 22m00
女子やり投 25m00

11 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、また、次のラウンドが行われる種目ではその結果が発表されてから15分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出る。
- (2) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者にかわる責任者が当該総務員を通じてジュリーに文書と預託金1万円を添えて正式な抗議の手続きをとる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

12 競技者の競技場内への持ち込み物品について

- (1) 競技者は競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んではならない。
- (2) 商標について
商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に違反したものについて主催者で処置する。

①上半身の衣類（ベスト・レオタード等）

- ・ベスト：衣類の製造会社名/ロゴを前に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。
- ・レオタード：衣類の製造会社名/ロゴを前に1ヶ所または2ヶ所表示できる。1ヶ所の場合は、文字の高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で面積30cm²

以内の長方形とする。2ヶ所の場合はウエストより上部、下部にそれぞれ1ヶ所とするが、それぞれの表示が接してはならない。それぞれの文字の高さは3cm以内、トータルロゴの高さは4cm以内で、面積は20cm²以内の長方形とする。

- ・トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット：衣類の製造会社名/ロゴを衣類の前（右胸か左胸）に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積40cm²以内の長方形とする。

②下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等かぎ〔レオタードを除く〕）

- ・製造会社名/ロゴを1ヶ所表示することができる。高さは4cm以内、面積20cm²以内とする（ソックスは高さ3cm以内、面積6cm²以内とする）。

③競技中に競技者によって使用されるその他の衣類（ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等）

- ・製造会社名/ロゴを衣類1つにつき1ヶ所表示することができる。面積は6cm²以内とする。

④バッグ

- ・製造会社名/ロゴは、各バッグ2ヶ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm²以内とする。

13 表彰について

- (1) 各競技種目の表彰は第8位までとする。
- (2) 表彰対象競技者は、競技終了後直ちに、表彰控え場所へユニフォームを着用して集合すること。
- (3) 表彰場所は、主競技場メインスタンド前で行う。状況等によってはメインスタンド下で行う。
- (4) 4×100mR・4×400mRの表彰は第1走者～第4走者の4名で行う。

14 その他

- (1) 救急、救護に関する処置は、メインスタンド下の医務室で応急処置のみ行う。
- (2) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場側の許可なく手配しない。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うため、詳細を含め大会本部に連絡する。
- (3) 大会本部でトレーナーをスタンド下トレーナー活動場所に配置している。利用は選手に限る。
- (4) テント等の設営は、競技場のサイドスタンド及びバックスタンドの芝部分に設営すること。通路を妨げて設営したり、柵へ取り付けたりしないこと。また、競技終了後は、毎日たたむこと。
- (5) 競技場内の更衣室は使用してもよいが、休憩場所や控え場所としての使用は禁止する。
- (6) 届けられた遺失物については、大会本部で保管する。
- (7) 応援はスタンドで行うこと。ただしメインスタンドでの集団での応援は禁止する。応援に当たっては、競技者や競技運営に支障のないように十分配慮すること。特に、フィールド競技の進行に支障のないように十分注意すること。
- (8) 盗難等がないよう持ち物及び貴重品の管理には十分注意すること。
- (9) 招集所からスタート地点への移動は、原則スタンドの外を通ること。スタンド前は絶対に通らないこと。
- (10) その他、不明な点は大会受付・大会本部に問い合わせる。